

4 大学研究発表コンペに参加 古賀ゼミはプレゼンテーション賞

茨城大学人文社会科学部の古賀ゼミ（ジャーナリズム論）が立教大学砂川浩慶ゼミ、法政大学藤代裕之ゼミ、大正大学川喜田尚ゼミらと毎年実施している年間研究発表のコンペが1



月12日、立教大学池袋校舎で開かれました。7年前にスタートしたこのコンペは、各ゼミがそれぞれの問題意識をベースに1年間の研究成果をパワーポイントにまとめ、20分で発表するのが内容です。

現代社会学科でジャーナリズム論を担当する古賀純一郎教員が指導教員を務める古賀ゼミは大学のハラスメントに焦点を当てた「No more Harassmentーハラスメントは他人事か」を発表し、プレゼンテーション賞、実質2位に輝きました。審査員は、加藤久仁 NHK エンタープライズ取締役、徳山喜雄立正大学教授（元朝日新聞記者）などメディア企業幹部らの7人。

古賀ゼミから発表に参加したのは、4年生が岩出夏輝、森本真由、高橋春美、山口美結、片野真琴の5人。3年生は菅野真二、本田峻、八村僚一、橋本渚、中野友裕の5人。2年生が生田梨帆、山本洸也の2人、計12人でした。



毎年、後援会からの交通費補助をいただき、とても感謝しております。来年もまた、よろしく願い致します。

